

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

OCT.2017

とえだ

広報

Soeda
Public
Relations



10
No.672

坂道で追撃ー。踏み込むペダル

最速は、38分17秒20。

今年の“激坂”英彦山路を制したのはー

◎第27回英彦山サイクルタイムトライアル大会（詳細は8ページ）

燃える熱き消防魂 鍛え上げた技と心が集う

普段はそれぞれの仕事に従事しながら、災害発生のお知らせを受けると現場に急行、最前線で活動する添田町消防団(田中久美男団長)。9月3日、消防団ポンプ操法大会が行われ、各分団2か月に渡っての磨き抜かれた操法技術、訓練の集大成を添田公園駐車場で競い合いました

九 州北部豪雨を乗り越え、厳しい猛暑の中で訓練を重ねてきた消防団員約150人が添田公園駐車場に集結。9月3日、2年に一度の消防団ポンプ操法大会が行われました。

大会は、町内7つの各分団から選出された4人の選手が、水利から3本のホースをつなぎ火点(的)に放水。

火点が倒れるまでの時間を競うと同時に、消火活動に必要な機材操作や各選手のチームワーク、規律、節度などが採点基準となります。

梅雨明け前から約2か月後の本番に向け、訓練が始まりました。仕事を終えた後、猛暑が続く環境下で、汗を流し、声を枯らしながら夜遅くまで繰り返される厳しい訓練。また、今年は7月に九州北部豪雨が町を襲い、その対応や後処理に追われる分団もありました。訓練を重ねる選手

を支えてきたのが応援に駆けつけた団員たちです。選手が持ちやすいよう、しっかりとホースを巻き、また、これまでに培ってきた技術を伝えようと時には激しく、声を荒げて指導しました。

い よいよ本番。「操作―始め―」腹の底から力強く、気合いの入った指揮者の号令が響き渡りました。ポンプにホースをつなぎ、的に放水するまで約45秒。この45秒に全てをかけるため訓練に耐え、最高の操法を披露した選手たちに、惜しめない拍手が送られました。

厳しい訓練と豪雨を乗り越え、機敏な動作と操法技術、熱き消防魂を見せてくれた添田町消防団。この磨き抜かれた技と心、団結力は、火災や災害などの発生時に活かされるに違いありません。

第22回添田町消防団ポンプ操法大会 45秒に全てをかける消防団員の熱い1日

消防団員は、他に生業を持ちながら地域の消防・防災活動を担い、火災や災害が発生すると真っ先に現場に駆けつけ、活動を行います。このポンプ操法大会は、火災現場で消防機材を有効に活用し、火災被害を最小限に抑えるため、消防団員の消火技術の向上と規律の保持を目的として2年に1回開催しており、町内7つの消防団対抗で、その技術を競うものです。

1__統率のとれた動作と正確な操法技術、熱い消防魂をみせ優勝を果たした、第5分団の見事な放水動作／2__号令と共に一斉にそれぞれの作業に取り掛かる各選手。節度とスピード、チームワークなどが求められるポンプ操法／3__ポンプを操作し勢いよく水をあげる3番員

火点は前方の標的、水利はポンプ右側後方
防火水槽、手びろめによる二重巻ホース
一線延長、定位につけ、操作―始め。



4__「操作、始め」「よし」。号令と同時に1番員はホースを担ぎ、火点に向かい猛然とダッシュします／5__「放水始め」指揮者の合図を機械操作の3番員に伝達する1番員／6__とび口を構え、姿勢を整える2番員／7__ポンプから放水地点までは53メートル。20メートルのホースを3本を延長し、火点に放水します



◎ポンプ操法大会結果

- ▶優勝＝第5分団
- ▶準優勝＝本部分団
- ▶第3位＝第4分団

◎優秀選手

- 指揮者＝野北省一(第5分団)指
- 1番員＝加藤光彦(本部分団)1
- 2番員＝谷延宏和(第5分団)2
- 3番員＝早戸純一(第5分団)3



団 体生活を通じてお互いの交流を深め、仲間と協力することの大切さや思いやりの気持ちを育む少年アドベンチャー。33回目の今年は、

団員67人が8月22日から26日までの4泊5日の日程で沖縄県の石垣島・西表島へと旅立ちました。

福岡空港から約2時間の空の旅を終え、石垣空港に到着。空港を出ると、添田町とは全く違う暑さを実感しました。

空港からはバスに乗り、中国福建省出身者128人の霊がまつられている唐人墓に向けて移動し、バスガイドから説明を受けました。バスの車窓からは南国の景色を楽しむことができました。

2 日目、まずは、世界有数の透明度を誇る石垣島の川平湾を訪れました。色とりどりのサンゴ礁や熱帯魚を観察するグラスボートに乗船。カクレクマノミやウミガメを見つけては歓声を上げていました。次に、マンングロブが自生する石垣島の名勝・

体が亜熱帯の樹木や花々が植えられている植物園になっています。ここでは、由布島特製の弁当を食べ、記念撮影をしました。

午後は、沖縄県最大の川である浦内川のボート遊覧。川の両岸にはマンングロブをはじめとした亜熱帯の植物が広がり、干潟ではいろいろな野鳥などを見ることができました。その後、ボートを降りて山道を歩き、日本の滝100選にも選ばれているマリウドウの滝を見学しました。

4 日目は、名蔵アンパルでカレー体験です。名蔵アンパルは、平成17年11月にラムサール条約に登録されている湿地です。カヌーに乗り込み「イチ、ニツ、イチ、ニツ」とかけ声をかけながら、協力し、カヌーを漕ぐ団員たち。うまくスイスイ進んでいくカヌーもあれば、同じところをぐるぐる回るカヌーもありましたが最後まで頑張りました。午後からは、南ぬ浜町海浜緑地に向かいました。人工ビ

少年アドベンチャー in 石垣島・西表島

南の島で体験した最高の夏

Boys and Girls Adventure
in Ishigaki Island / Iriomote Island



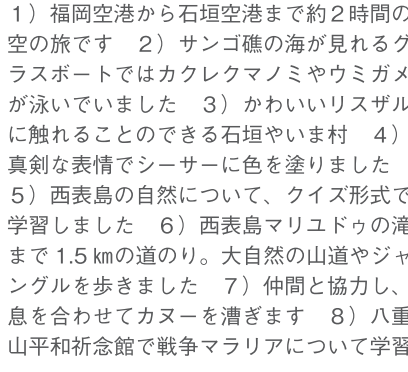
夏休み、今年で33回目となった少年アドベンチャーが行われました。団員たち67人は8月22日から26日までの4泊5日の日程で石垣島・西表島を訪れ、南国の大自然の中で仲間と最高の思い出をつくりました。



石垣島と西表島
石垣島は那覇から南西へ約430kmの東シナ海に浮かぶ、沖縄本島、西表島に次いで沖縄県で3番目に大きな島。亜熱帯の自然と都市が共存する、サンゴ礁に囲まれた日本最南端のリゾートです。
西表島は全体の90%以上が熱帯・亜熱帯の原生林で覆われ、天然記念物やマンングロブの大群落など日本有数の大自然が残っています。



↑西表島から由布島までは遠浅の海を水牛車で渡りました
←素焼きのシーサー（沖縄県などで見られる伝説の獣の像で魔除けなどに用いられる）に色を塗り、色も表情もオリジナル、自分だけのシーサーが完成しました



イチの真つ白な砂浜で夏の沖縄の強い日差しのもと、南国の真つ青な海を満喫しました。この日の夕食はみんなでバーベキューをしたり、各班で歌の替え歌を発表する「石1グランプリ」を開催したりと大盛り上がりでした。

い よいよ最終日。八重山平和祈念館で平和学習。ここでは、第2次世界大戦中、石垣島、西表島などを含む八重山諸島の住民がマラリアの無病地帯から有病地帯に避難を強いられたことによりマラリアに罹患し、3600名余の尊い命が犠牲となった出来事を学びました。

その後は石垣島ショッピングプラザで家族や友人にお土産を買い、添田町への帰路につきましました。
こ の研修で最後まで頑張ることや、友人の大切さを実感できた団員たち。この経験で、団員たちは一回り大きく成長し、心に残る最高の思い出と一生の友人ができたのではないのでしょうか。

石 垣港から高速船で西表島大原港へ移動した3日目。西表島野生生物保護センターでは、クイズ形式で西表島の山猫やカエルなどの島の保護生物の学習をしました。次に遠浅の海を水牛車にゆられて由布島へ渡りました。由布島は、島の周囲約2.1km、海拔1.5mの小さな島で、島全

第48回
衆議院議員総選挙
及び第24回最高裁判所裁判官国民審査
投票日
10月22日
時間／午前7時～午後6時
※本町では投票時間を2時間繰り上げています。

期日前投票
衆議院議員総選挙
10月11日水～21日出
最高裁判所裁判官国民審査
10月11日水～21日出
※公職選挙法の一部改正により、衆議院議員総選挙と同日になりました。
時間／午前8時30分～午後8時
場所／役場1階特1会議室

不在者投票
県が不在者投票施設として指定している病院や老人ホームなどの施設に入院または入所している人は、その病院や施設で不在者投票ができます。
また、仕事や旅行などで選挙期間中名簿登録地以外の市区町村に滞在している人は、滞在先の市区町村の選挙管理委員会 で不在者投票ができます。

郵便投票
身体障害者手帳や戦傷病者手帳、介護保険証を持ち、一定の要件を満たしている人は、郵便で投票ができます。投票をする場合は、事前に所定の手続きをする必要がありますので、選挙管理委員会に問い合わせてください。

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられました
今回の選挙で投票できる人は満18歳以上(平成11年10月23日までに生まれた人)となります。

▶ 町内の投票所は次のとおりです

投票所	投票会場	投票所	投票会場	投票所	投票会場
第1	添田小学校	第5	添田町体育館	第9	上津野活性化センター*
第2	中元寺公民館	第6	庄地区集会所	第10	栲田地区公民館
第3	彦山地区総合センター	第7	中鶴教育集会所	第11	真木小学校
第4	英彦山公民館	第8	津野公民館	第12	岩瀬・新城集会所

※第9投票所は津野生活改善センターから「上津野活性化センター」に変更となりました。

■ みんなで徹底しよう「三ない運動」

「三ない運動」とは、政治家の寄附について「贈らない、求めない、受け取らない」ということです。つまり「三ない運動」とは、公職選挙法の寄附禁止の規定によって禁止されている行為をしないようにしようという運動です。

■ 寄附行為は禁止されています。有権者が求めてもいけません

公職選挙法では、政治家が選挙区内の人に寄附をすることは禁止されています。また、選挙区内の有権者が政治家に寄附を求めることも禁止されています。
禁止されている主なものは、次のとおりです。
▷お祭への寄附や差入
▷地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差入
▷秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典
▷葬式の花輪、供花
▷落成式、開店祝の花輪
▷入学祝、卒業祝
▷お歳暮やお年賀
▷町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入

【選挙に関する問い合わせ／添田町選挙管理委員会 ☎ 82-1231】

※平成29年9月1日現在において選挙人名簿に登録されている選挙人の数は、次のとおりです。
男4,147人 女4,808人 計8,955人

☎ 82-1236 関 役場まちづくり課

第22回 添田町 フォトコンテスト

撮影場所▶町内全域

11月30日 木 〆切

添田町の四季折々のベストショットをお待ちしています。



☎ 82-2559 関 オークホール

第43回 添田町総合文化祭

会場▶オークホール

11月4日 土 ・ 5日 日 9時～16時

踊りや歌、大正琴などを披露する華やかな芸能部門と、華道や書道、絵画、手芸などの力作が並ぶ展示部門。今年も皆さんの磨き抜かれた芸や作品を、ぜひご覧ください。



☎ 090-3798-0648 関 観光協会山本さん

上中元寺薬師堂大祭

会場▶上中元寺薬師堂

11月5日 日 10時～



県指定文化財で、平安時代に病氣平癒のために安置されたと伝えられている薬師如来。1年の家内安全と無病息災を願いませんか。御法楽終了後はイベントも行われます。



先月号の裏表紙で、薬師堂大祭の日付に誤りがありましたので、おわびして訂正します

【正】11月5日に薬師堂大祭

☎ 090-1875-3111 関 廣田さん

添田町内小学生による 夏休み作品展

会場▶Space for you II—V—I

10月21日 土 ～ 29日 日 11時～17時



小学生の力作をご覧ください。人権標語・ポスター展も同時開催。

☎ 090-5733-5997 関 NPO法人アートもん

SO★E★DA 星空フェスタ2017

会場▶そえだサン・スポーツランド、そえだドーム

10月28日 土 ※各ブースで料金がかかります。17時～21時



天体のエキスパートと一緒に、夜空を観察しましょう。プラネタリウムに天体観測、星空に願い事を書いた風船を飛ばすなど、夜空を眺め学んで楽しんで、夜空がもっと好きになるイベントです。※雨天時はそえだドームでプラネタリウム鑑賞とワークショップのみ開催。

☎ 090-1874-5555 関 協議会陣矢さん

上津野村づくり推進協議会主催 自然にふれよう in 津野 収穫祭

会場▶津野地区生活改善センター付近

11月3日 祝 10時～



杵つき餅、ジャンボおにぎりなどの即売、トルコギキョウの競りなど楽しいイベントがいっぱい。

☎ 82-1236 関 役場まちづくり課

～災害復興イベント～ 第22回 英彦山男魂祭 in 北九州

会場▶小倉井筒屋クロスロード

11月12日 日 10時～16時



今年の男魂祭は、7月の九州北部豪雨の災害復興イベントとして、北九州市小倉井筒屋クロスロードで物産販売やパネルの展示などを行います。



身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽に問い合わせください。



復旧に協力、(有)エコテック社に感謝状

添田町社会福祉協議会

添田町社会福祉協議会（宇都宮多美子会長）は、九州北部豪雨でいち早く現場に駆けつけ、復旧に向けたボランティア活動に会社ぐるみで参加した(有)エコテック社に感謝状を贈呈しました。9月13日、宇都宮会長から感謝状を手渡された高山和仁社長は「町民の一人として、今後も協力していきたい」と述べていました。



↑宇都宮会長㊦から感謝状を受け取った高山社長㊦

黄金色の田んぼで嬉しい新米の収穫

中元寺小学校で稲刈り

中元寺小学校の全校児童50人が9月6日、学校前の田んぼで稲刈りを行いました。中元寺の自然を愛する会（宮金美樹会長）の指導で、5月に全校児童で田植えを行い、中元寺川のきれいな水で育った黄金色の稲穂を汗を流しながら鎌を使い刈っていく児童たち。収穫した稲穂は、天日干しで乾燥して給食などで使われます。



↑鎌で刈った稲は太陽の光に照らし乾燥させました

秋田犬の素晴らしさを多くの人に

秋田犬名犬写真集を図書館に寄贈

米城洋子さん（添田中）が夫・誠二(故人)さんの遺志を継ぎ、秋田犬名犬写真集を町立図書館に寄贈しました。天然記念物の秋田犬に愛情かけ育て、多くの品評会で好成績を収めた米城さん家族。洋子さんは「生前、主人が楽しみにしていた写真集を多くの人に見てもらい、秋田犬の素晴らしさを感じてほしい」と語っていました。



↑秋田犬保存会90周年記念で発行された写真集です

豪雨災害に負けず、頑張っています

各地の復興イベントに出店

九州北部豪雨の被災地が特産品を販売したり、観光情報を発信したりする復興イベントが各地で開催され添田町からも出店しました。8月26日と27日の2日間、福岡市の天神きらめき通りや天神中央公園で野菜やヤマメの塩焼き、コンニャク、鹿肉などを販売し、豪雨災害に負けずに頑張る添田町を都市部でPRしました。



↑寺西町長も駆けつけて元気な添田町をアピール

特大の筆で書いた、思い思いの一字

秀島踏波さん「書の表現教室」

9月20日、添田小学校で6年生を対象に添田町出身の書家である秀島踏波さんによる書の表現教室が行われました。児童たちは、長さ50センチ、穂先が15センチもある特大の筆で、紙に向かって「夢」「楽」「笑」など自分が考えた思い思いの漢字一文字を、相撲の四股を踏むような姿勢で、体全体を使い表現していました。



↑特大の筆を使って、勢いよく書き上げる児童

詩の印象をそれぞれの感性で表現

尹東柱さんの追悼書展「星を詩う青年」

第二次世界大戦中に福岡で獄死した韓国の詩人、尹東柱さんの詩をカリグラフィ（文字を美しく見せるための手法）で表現した作品展が、9月1日から3日までオークホールで開催されました。1日には開会式典が行われ、訪れた人は、書のパフォーマンスに見入ったり詩の朗読やコンサートに聞き入ったりしていました。



↑詩の印象を音楽に合わせ、墨で表現していました

↓添田小学校から豊前坊までの走行距離14.7km、標高差800mの英彦山路を激走する選手たち



激走、過酷な英彦山路に挑む

英彦山サイクルタイムトライアル大会

第27回英彦山サイクルタイムトライアル大会が9月24日に行われ、10歳から75歳までの選手581人が県内外から集結し、過酷な英彦山路を走り切りました。緊張が高まるスタートの合図とともに、沿道の家族や友人たちの声援を受け、標高差800メートルの険しい上り坂を駆け上がり、ゴールの英彦山を目指してペダルを踏み続ける選手たち。Bクラス（30歳から39歳までの部）で出場の岩尾大輔さん（長崎県）が総合優勝を飾りました。開・閉会式会場の町体育館駐車場ではご当地グルメフェアが行われ、創作丼やヤマメの塩焼きなどを求めて多くの人が足を運んでいました。

地域がひとつになった運動会

各地区で運動会

9月24日、くるみ保育園と落合小学校による「保・小合同運動会」が落合小学校グラウンドで行われました。今年のテーマ、みんなで力を合わせて「一心同体」の言葉どおり、練習の成果を発揮し、力を合わせて頑張る園児や児童たちに保護者や地域の皆さんから大きな声援が飛んでいました。同じく9月24日、台風のため順延となった「津野小学校・ひかり保育園・地域合同運動会」が津野小学校グラウンドで行われました。元気に競技を楽しむ児童や園児と一緒に、地域の皆さんも地区対抗競技などで大盛り上がり。どちらも地域がひとつになった楽しい運動会となりました。

↓長生会や婦人会、卒業生など多くの人が参加し、盛り上がった運動会(①②落合、③④津野)



地元材を使って空き家を改修

ヒコスギ／リンゴハウス

筑豊地区木材協同組合（荒木光子理事長）が筑豊地区で切り出された杉を使い、英彦山観光りんご園（星野沢人園主）内の空き家1階部分を改修した「ヒコスギ／リンゴハウス」が完成。8月27日に関係者を招いてお披露目会がありました。組合では筑豊の杉をヒコスギとしてブランド化することを目指しており、りんご園内の使われていない別荘を国の補助金を活用し改修しました。会では、りんごを使った料理などが振る舞われ、来場者はりんごの木を見渡ししながら、筑豊産の杉の香りや手触りを感じていました。りんご園では11月末くらいまでりんご狩りが楽しめるそうです。





わこ
山本 和奈ちゃん
10月16日生 ②・野田

2歳のお誕生日おめでとう！お外遊びが大好きでいつも元気いっぱいなのわこちゃん。たくさん食べてすくすく大きくなってね！



りか
宮本 有栞ちゃん
10月1日生 ②・桜橋

お姉ちゃんが大好きな有栞ちゃん♡2歳おめでとう♪これから元気に育ってね♡



いろは
高千穂 彩羽ちゃん
10月8日生 ③・添田東

おしゃべりがだいぶ上手になってきました！我が家で一番の権力者です♡



ここな
吉田寿々奈ちゃん
10月12日生 ①・添田西

お家で飼っているチワワと歌が大好きなここちゃん♪たくさん遊んですくすく元気に大きくなってね！



みく
内村 心咲ちゃん
10月18日生 ①・野田

みくちゃん、1歳のお誕生日おめでとう♪お姉ちゃん＆お兄ちゃんと仲良く遊んで大きくなあれ！

◎3歳までのお子さん募集中

①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前の読み方 ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内) ⑧保護者の連絡先を送信してください。

送信先 koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp

図 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-1231)



まちかど特派員投稿



4本の実のナスにビックリ!!

三つ子に続き、今年は四つ子を収穫

時津勢子さん(上落合二)からの投稿です



↑四つ子のナスが採れました

9月11日、落合地区の畑でヘタから4本の実がなった「四つ子のナス」を収穫しました。野菜を育てるのが趣味なのですが、いつものように畑でナスを採ったところ、その中のひとつが、なんと四つ子でした。数年前に三つ子のナスを収穫して驚きましたが、今年は1本増えてビックリ!! 次は、五つ子のナスが採れるかもしれません。

園児にたくさん元気をもらいました 錦風荘敬老会

錦風荘からの投稿です



↑いつまでも元気に長生きしてください

9月13日、錦風荘敬老会を行いました。敬老会では、みどり保育園の園児たちが、かわいい歌や踊りで、お年寄りをお祝い。最後は肩たたきをしてもらい、とても嬉しそうなお様子でした。子どもたちからプレゼントとパワーをもらい、皆さんの健康長寿をお祝いすることができました。

お薬師さんをお守りする 十二支を冠る神様たち

2か月に1回、お届けしている歴まちコラム。今回は、盗難被害から無事に戻り、中元寺の薬師如来坐像をお守りしている「十二神将像」です。

中

元寺薬師堂には、比較山横川の高僧恵心僧都が安置したと伝わる平安時代の薬師如来坐像(福岡県指定文化財)があり、その周りを十二神将像(町指定文化財)がお守りしています。そのうち3体が平成25年に盗難被害に遭っていましたが、京都府内の寺で発見され、8月3日、中元寺に戻ってきました。

各

神将は7千の夜叉(鬼神)を率いていると考えられています。載せるお姿で表現されるようになったと言われ、各々の神将がどの十二支に対応するかは諸説あります。

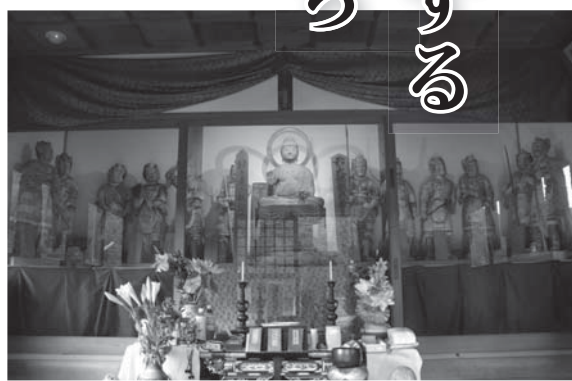
12

体のうち盗難被害に遭った「迷企羅大将(酉の神)」、「伐折羅大将(戌の神)」、「毘羅大将(亥の神)」の神将は1年のうち9月、10月、11月を、1日のうちでは

3

体の神将像は多くの方々のご協力で無事に薬師堂へ戻りましたが、この時に情報提供の依頼などに役立つのがお像の写真や大きな寸法のデータでした。

指定文化財に限らず、貴重な品物を所有されている方は定期的に現物の確認を行うと共に、写真の撮影や大きさなどの特徴をできる限り記録しておくことをおすすめします。
【文・西山絃二学芸員(まちづくり課文化財係)】
※参考文献「ふるさと中元寺」(昭和50年)



↑薬師堂に安置されている中元寺薬師如来坐像と十二神将像

文芸歳時記



【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

山野草活けて小さき秋に逢う

白線を跨いで八月十五日

異次元の豪雨に耐えし水車かな

ぬいぐるみ枕に大工三尺寝

サンガラスはすじ傘寿の顔となる

もの言わず首振るばかり猫じやらし

ひとすじの風を残して蜻蛉飛ぶ

炎天の影横たわる百度石

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

何処へと散りゆくことなど心配なし

今日も明日もただ健やかに

秋暑し鏡の奥にある素顔

カラーゲン入りのクリームに覆ふ

幼子が吾が手の甲の皮膚つまみ

どうしてこうも延びるのと聞く

お彼岸の頃を待つかに咲く花の

彼岸花赤くみ寺へつづく

街角の家を雨の日訪ねれば木槿の

紅花くちびるに似て

颯風の過ぎて流るる黒雲の

跡は光帯び空の眩しく

連休に子孫揃ひて手巻き寿司

賑やかに囲む何年振りか

【俳句 添田福寿句会】

新涼に豊かな気力戻り来し

朝より蟬のコーラス聞く日なり

老いてなほ往時を今に終戦日

【俳句 投稿】

乗る父母に妻が手を貸す精霊船

一人身の静寂の中虫の声

新樹のきりと結ぶ後ろ髪

コスモスやややの取り持つ婚の使者

夏帯やいまだ八十路を受け入れず

鯉背負ふ絵柄跳ぬる浴衣かな

【短歌 投稿】

谷風に飛ぶ桃の葉にふり向きて

山を駆けゆく鹿に気づけり

●11月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

10月16日(日)までに役場総務課に連絡してください。

※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

図 役場総務課広報・秘書係 (☎ 82-1231)



教育のひろば

義務教育期間に「夢や希望を持てるそえだの子ども」の育成を目指し、節目の年に応じたキーワードのもと、いろいろな行事に取り組む「そえだドリームプロジェクト9年構想」も今年で5年目を迎えました。

◎そえだドリームプロジェクト9年構想

「志」で9年間を貫く

基礎ステージ（保育園幼稚園段階）

早寝早起き朝ごはん

すべての家庭地域で人生の基礎としての位置づけで、基本的な生活習慣を身につけさせる。

1ステージ（小学1年～4年段階）

あいさつ掃除

1／2成人式
全小学校で4年生を対象に、今までも振り返り、今後の夢や希望をはぐくむ機会とする。

2ステージ（小学5年～中学1年段階）

耐性勤勉

踏破鍛練「そえだ立志の道」
小学校5年生を対象に、鍛錬体験を通して何事にも粘り強く取り組む姿勢をはぐくむ。

3ステージ（中学2年～3年段階）

共生立志

立志式
中学校2年生を対象に、今後の人生を考える機会とし、町を挙げて応援する場とする。

夢や希望を持てるそえだの子ども

～保・幼・小・中・家庭・地域の連携を通して～

今年の踏破鍛練「そえだ立志の道」は、10月19日～20日の一泊二日で町内全小学校の5年生が英彦山青年の家に集まります。この合宿の中で、英彦山登山やレクリエーションを通じて、目標に取り組む粘り強い心やみんなと協力して困難に立ち向かう気持ちを養います。



↑昨年度のそえだ立志の道

その他にも、小学校では12月の6年生交流会や来年1月の4年生の二分の一成人式、中学校では2年生の立志式と子どもの成長にあった行事を行っています。

このような取り組みは、そえだの子どもたちが大きな「志」を持ち、成長していく助けとなると考えていますので、一緒に子どもたちの頑張りへの応援をお願いします。

問 教育委員会学校教育課（☎ 82-5963）

◎臓器移植について、命について考えてみませんか

10月は臓器移植普及推進月間です



臓器移植は、臓器の機能が低下したり、全く働かなくなったりする病気の唯一の根治療法です。臓器提供の意志がある人も、ない人も、運転免許証や健康保険証のウラ面の「臓器提供意思表示欄」に記入しておきましょう。

問 役場保健福祉環境課福祉・障がい者係（☎ 82-1232）

問（公社）日本臓器移植ネットワーク（☎ 0120-78-1069）

ページなどで確認してください。

問 県庁がん感染症疾病対策課（☎ 092-643-3267）

添田町戦没者慰霊祭

▼とき 10月17日（火）10時

▼ところ 添田公園内慰霊塔前

問 役場保健福祉環境課福祉・障がい者係（☎ 82-1232）

世界糖尿病デー
ライトアップ・イベント

世界糖尿病デー（11月14日）に合わせて日本各地の建物をブルーライトアップし、増加する糖尿病への関心を高め、イベントでは予防や治療の大切さを呼び

かけます。

▼とき 11月11日（土）15時～17時30分

▼ところ 社会保険直方病院

▼内容 血糖自己測定、医療・栄養相談、ミニ講演「糖尿病とは（仮）」／社会保険直方病院 南陽平先生、点灯式（17時～17時30分／直方駅前魁皇像）など

問 福岡ゆたか中央病院5階病棟（☎ 0949-26-2311）

高額介護（予防）サービス費が見直されます

介護保険法の改正で、平成29年11月に支払われる高額介護（予

防）サービス費（平成29年8月サービス利用分）の算定から、同一世帯内のどなたかが市町村民税を課税されている人の利用者負担上限月額が、3万7200円から4万4400円に引き上げられます。ただし、長期に渡り介護保険サービスを利用している人に配慮して、65歳以上の人すべての利用者負担割合が1割の世帯は、4万6400円（3万7200円×12か月）の年間上限額が設けられます。

問 役場保健福祉環境課高齢者支援係（☎ 82-1232）



7月の九州北部豪雨災害で被災された添田町の方へ

全国各地から福岡県共同募金会、日本赤十字福岡県支部等に寄せられた義援金が、福岡県義援金品配分委員会で審議され、配分基準に基づき第1次配分が決定されました。

全国からの心温まるご支援に、心からお礼申し上げます。

▼配分基準額（1世帯につき）

▽住家全壊 90万6020円

▽住家半壊 45万3010円

▽床上浸水 9万602円

問 役場保健福祉環境課福祉・障がい者係（☎ 82-1232）

くらしに役立つ情報満載 Information

試験・雇用

自衛官採用試験

【自衛官候補生第5次募集】

▼試験日 11月25日（土）

▼試験会場 小倉駐屯地

▼試験資格 18歳以上27歳未満の人

▼受付期間 要問い合わせ

【陸上自衛隊高等工科学校生徒】

▼試験日 平成30年1月20日（土）

▼試験会場 飯塚研究開発センター

▼試験資格 15歳以上17歳未満の男子

▼受付期間 11月1日（火）～平成30年1月9日（火）

問 自衛隊福岡地方協力本部（☎ 0948-22-4847）

特別養護老人ホームそえだ調理員（契約・パート）募集



【調理員（契約職員）】

▼内容 調理、配膳など全般。免許資格不問

▼給与 月額17万2千円

【調理員（パート職員）】

▼内容 調理、配膳など全般。免許資格不問

▼給与 時給850円

※詳しくは問い合わせください。

問 特別養護老人ホームそえだ（☎ 82-4112）

税務

平成29年分年末調整説明会

▼とき 11月15日（火）▽田川市内の法人・個人 10時20分～12時 ▽田川郡内の法人・個人 11時50分～15時30分

▼ところ 田川青少年文化ホール（田川市）

問 田川税務署法人課税部門（☎ 44-4576）

消費税軽減税率制度が実施されます

平成31年10月から、消費税軽減税率制度が実施されます。

イベント

①中小の小売事業者などに対するレジの導入・電子的な受発注システムの改修などの支援

Ⅱ軽減税率対策補助金事務局（☎ 0570-081-222）

②中小企業団体などの小売事業者への周知や対応サポート体制の整備

Ⅱ添田町商工会（☎ 82-0244）

3周年記念めんべい祭り

▼とき 10月21日（土）9時～16時

▼ところ 福太郎添田町めんべい工場

▼内容 数量限定商品の販売、購入者限定抽選会、わなげなどの楽しいイベント

問 添田町めんべい工場（☎ 31-4040）

鈴木ナオミ九州北部豪雨被災地支援チャリティコンサート

▼とき 10月29日（日）14時～

▼ところ 川崎町勤労青少年ホーム

▼入場料 幼児無料、小中学生500円、高校生以上1500円

※入場はチケットが必要です。詳しくは問い合わせください。

問 実行委員会事務局 梶谷さん（☎ 090-7396-3519）

添田町郷土史会史跡めぐり

▼とき 10月20日（金）10時～15時

▼集合場所 添田公園駐車場

▼内容 マイクロバスで、町内の史跡やめんべい工場などを巡ります

▼参加費 2500円（当日集金）

※先着順要予約。詳しくは問い合わせください。

問 添田町郷土史会 梶谷さん（☎ 090-8623-8300）

復興祈願英彦山遠行会

朝倉・添田への復興の思いを胸に、36キロの道のりを十文字中学校生徒と歩きませんか。

▼とき 10月28日（土）6時集合

▼集合場所 十文字中学校

▼持参物 弁当、水筒、帽子、タオル、雨具など／要申込

▼申込期限 10月10日（火）

問 朝倉市立十文字中学校（☎ 0946-22-3106）

第10回ふくおか町村フェア

▼とき 10月14日（土）10時30分～16時30分、15日（日）11時～16時

▼ところ 天神中央公園（福岡市）

▼内容 県内各町村の自慢の特産品やグルメが大集合。添田

町からも、農産物や加工品、工芸品などを出品します

問 福岡県町村会総務課（☎ 092-651-1121）

村田喜代子さん講演会「ずつつと小説を書いてきた」

町立図書館開館20年、添田町読書会発足35年を記念し、芥川賞作家、村田喜代子さんの講演を行います。

▼とき 10月15日（日）14時～15時30分／入場無料

▼ところ 町立図書館

問 町立図書館（☎ 82-4800）

保健・福祉

原子爆弾被爆者二世対象の健康診断を実施しています

原爆被爆者二世で希望者を対象に無料で健康診断を実施しています。

▼期間 平成30年2月28日（木）までの13時30分～15時（土日祝日、年末年始を除く）

▼ところ 福岡結核予防センターⅠ（☎ 092-761-2544）ほか22医療機関

※期日や時間は医療機関によって異なりますので事前にホーム

7月の九州北部豪雨災害で被災された添田町の方へ

全国各地から福岡県共同募金会、日本赤十字福岡県支部等に寄せられた義援金が、福岡県義援金品配分委員会で審議され、配分基準に基づき第1次配分が決定されました。

全国からの心温まるご支援に、心からお礼申し上げます。

▼配分基準額（1世帯につき）

▽住家全壊 90万6020円

▽住家半壊 45万3010円

▽床上浸水 9万602円

問 役場保健福祉環境課福祉・障がい者係（☎ 82-1232）

人の動き

8月末日現在（ ）は前月比

●人 口	10,243 人（－6 人）	●出生	5 人
●男 性	4,826 人（＋2 人）	●死亡	9 人
●女 性	5,417 人（－8 人）	●転入	14 人
●世帯数	4,796 世帯（＋1 世帯）	●転出	16 人

相談

- 心配ごと相談**（そえだジョイ／10時～15時）
10月17日㊦、11月7日㊦
 - 補聴器相談**（役場ロビー）
10月11日㊦（13時～）、10月13日㊦（15時～）
 - 無料法律相談**（オークホール／13時～16時）
10月20日㊦
- ※2か月に1回の巡回無料相談会です。前日午前中までに役場保健福祉環境課で予約してください。
- ㊦ 役場保健福祉環境課（☎ 82-1232）
- 無料法律相談会**
（福岡法務局田川支局／13時～16時）
10月10日㊦、11月14日㊦

※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。

- ㊦ 法テラス福岡（☎ 050-3383-5502）
- こころの健康相談**（田川保健福祉事務所／予約制）
10月10日㊦（10時～）、26日㊦（14時～）
- ㊦ 田川保健福祉事務所健康増進課（☎ 42-9307）
- 女性の健康相談・不妊相談**（福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所／要予約）
11月1日㊦（13時30分～16時30分）
- ㊦ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係（☎ 0948-29-0277）

納期限のお知らせ

- 10月31日㊦が納期限です**
 - ▷町県民税（3期）
 - ▷国民健康保険税（4期）
 - ▷後期高齢者医療保険料（4期）
- ㊦ 役場住民課税務・滞納対策係（☎ 82-1234）

事件事故発生状況

8月の事件発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
自動車盗	0（±0）	1（＋1）
性犯罪	0（±0）	0（±0）
車上ねらい	0（±0）	0（±0）
空き巣・忍び込みなど	0（－2）	1（－5）
8月の事故発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
事故発生（物件＋人身）	17（－7）	134（＋3）
死亡者	0（±0）	0（±0）
負傷者	2（－4）	24（－16）

英彦山国史跡指定記念
美化ボランティア募集

登山道や参道で見つけたごみを拾い、収集時
間内に鷹巣原駐車場まで持って来てください。拾ったごみを持ってきた人には、先着200人に記念缶バッジをプレゼントします。

▼とき 10月15日㊦ 10時～16時
雨決行

▼収集場所 鷹巣原駐車場

▼活動場所 英彦山の参道や登山道など



英彦山国史跡指定記念
美化ボランティア募集

登山道や参道で見つけたごみを拾い、収集時
間内に鷹巣原駐車場まで持って来てください。拾ったごみを持ってきた人には、先着200人に記念缶バッジをプレゼントします。

▼とき 10月15日㊦ 10時～16時
雨決行

▼収集場所 鷹巣原駐車場

▼活動場所 英彦山の参道や登山道など



福岡県最低賃金改定

10月1日から、福岡県最低賃金が次のとおり改定されました。

▼金額 789円／1時間

㊦ 福岡労働局労働基準部（☎ 092－411－4578）

改正育児・介護休業法がスタートしました

保育園などに入所できず、退職を余儀なくされる事態を防ぐため、育児・介護休業法が変わりました。また、育児休業を取得しやすい職場環境づくりを進めます。

▼改正内容 ①保育所に入れな

赤い羽根共同募金にご協力お願いします

昨年度は皆様のご理解とご協力により178万222円の赤い羽根共同募金が集まりました。これにより、福岡県共同募金会から129万円が添田町に配分され、一人暮らし家庭に緊急ベルの取り付けや、寝たきり老人年末見舞金、童話冊子購入など地域福祉活動の推進に役立てられています

㊦ 福岡労働局雇用環境・均等部指導課（☎ 092－411－4894）

ありがとうございました（敬称略）

○添田町社会福祉協議会へ
▼香典返し ▼（故）山野道弘伊原 ▼岡本憲一（庄東）▼古河毅（岩瀬）

▼一般寄付 ▼田川自動車整備工業会（田川市）

○特別養護老人ホームそえだへ
▼慰問 ▼高橋浩月（町四）▼坂本泰子（峰地）
（平成29年9月14日現在）

相談

健康相談

▼とき 10月25日㊦ 15時30分～16時30分

▼ところ クアハウスハビネス

▼内容 保健師・管理栄養士が、健診結果や食生活、栄養改善に関する などについて個別に相談に応じます

㊦ 役場保健福祉環境課健康対策係（☎ 88－8111）

暴力団被害集中相談

▼とき 10月21日㊦ 10時～16時

子ども支援オフィス
無料巡回相談会

▼とき 11月6日㊦ 10時30分～13時

▼ところ 添田町役場第3会議室

▼対象者 嘉穂郡・田川郡在住の人

▼内容 相談支援員が、保護者やお子さんの状態に応じて課題を整理し、必要な制度や手

町内で巡回相談を実施
行政相談週間

10月16日㊦から22日㊦までの1週間は「行政相談週間」です。

㊦ 総務省九州管区行政評価局（☎ 092－431－7082）

くらし・行政困りごと相談所

▼とき 11月2日㊦ 10時30分～14時30分／予約不要

▼ところ 田川市役所

▼内容 登記、年金、保険、税金などに関する相談

本町では巡回相談を行いますので、お気軽に相談ください。相談無料で、秘密は厳守されます。

▼中元寺公民館
10月16日㊦ 10時～15時

▼津野公民館
10月18日㊦ 10時～15時

▼彦山公民館（彦山地区総合センター）
10月19日㊦ 10時～15時

▼相談内容 登記や相続、道路の維持管理や安全対策、年金や税金、行政サービスに関する など、くらしの中で困っていること

㊦ 役場保健福祉環境課福祉・障がい者係（☎ 82－1232）

お知らせ

新しい定住促進事業が始まります

「定住促進事業」と「空き家バンク」が大きく変わります。また、10月1日から「リノベーション支援事業」と「空き地バンク」を始めます。詳しくはホームページで確認するか、問い合わせください。

また、移住定住総合窓口を開設しています。気軽に相談して



先月号のインフォメーションの「きたやまおさむ講演会」内で、FAX番号が誤っていました。ご迷惑をおかけした関係者の皆さまに深くおわび申し上げます。

知っておきたい年金の豆知識

保険料や受給年金が控除や課税の対象に

●**保険料は全額社会保険料控除の対象**

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・住民税の社会保険料控除の対象となります。社会保険料の控除を受けるためには、毎年1月1日から12月31日までの間に支払ったことを証明する書類の添付が義務付けられています。1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付した人には「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が10月下旬から11月上旬に日本年金機構から送付されますので、年末調整や確定申告の際に添付してください。

なお、10月1日から12月31日までの間に初めて保険料を納付した人には、翌年の1月下旬に証明書が送付されます。また、家族の国民年金保険料を納付した場合も本人の社会保険料控除に加えることができます。

●**老齢や退職年金などは所得税の課税対象**

老齢や退職を支給事由とする年金は、雑所得として所得税の課税対象となります。(障害者年金・遺族年金は課税されません。)

課税対象となる人には、日本年金機構から扶養親族等申告書が送付されますので、必ず提出してください。提出を忘れると各種控除が受けられず、所得税の源泉徴収額が多くなる場合がありますのでご注意ください。なお、年金以外に収入がある場合は確定申告が必要です。

●**平成30年分「扶養親族等申告書」が送付される人**

① 65歳未満で年金額が108万円以上の人
② 65歳以上で年金額が158万円以上の人

㊦ 直方年金事務所（☎ 0949-22-0891）
ねんきんダイヤル（☎ 0570-05-1165）

出張年金相談

【田川青少年文化ホール／☎ 44-6470】
▷毎月第1・3木曜日 10時～16時

【川崎町コミュニティセンター／☎ 72-3000】
▷毎月第4木曜日 10時～16時

※相談は予約制。基礎年金番号をお知らせください。

■ 問い合わせ・相談予約
直方年金事務所お客様相談室
（☎ 0949-22-0891）



◇発行／添田町 ◇編集／総務課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 番地
☎0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ http://www.town.sodeda.fukuoka.jp

◇印刷／丸五印刷株式会社
※広報そえだは再生紙を使用しています



ご長寿万歳 平成29年度添田町敬老会

健康と 長寿の お祝い

9月14日、今年度100歳を迎える8人を寺西町長らが訪問、お祝い状と記念品を手渡ししました。また、9月18日と23日に長寿を祝う敬老会がオークホールで行われ、75歳以上の該当者2175人のうち、2日間で約700人が出席しました。式典では、節目の年を迎える皆さんに寺西町長から記念品を贈呈。昼食後は、町内保育園児の遊戯やこぶしの会のコーラス、商工会女性部長の武貞真弓さんの歌謡ショー、本町出身の本田祐介さんらによる大衆舞踊が披露され、会場からは惜しみない拍手が送られていました。また、添田東女性の会の健康体操では、会場の皆さんも一緒に、元気に歌いながら手足を動かした体操。恒例の福引き抽選会では、参加者全員に特産品などが当たり、笑顔で受け取っていました。最後は、来年も元気で会いましょうと万歳三唱で盛況に幕を閉じました。



アトラクションでは、社会福祉法人添寿会の皆さんが勇壮な太鼓を披露しました。



台風18号の影響による開催日程変更にご対応いただきました各地域の皆さまに感謝いたします。ありがとうございました。

町長室 広報そえだ

▼まちの価値は、人口（人のあたまかず）なのか？という講演を、中央の研修会で聞いた。その内容をかいつまんで紹介するところである。▼全国ごぞって地方創生総合戦略を作成しているが、地域（まち）を消滅させないため、人を増やす事だけしか考えていない。【添田町は今の人口を維持することとして】人口（人）をあたまかずでしか考えてない。▼定住人口があれば、地域（まち）は成立するのだろうか。もともと地域（まち）とは何なんだろう。地域（まち）は、面積と人口で出来ている。しかし、それだけなんだろう。人はさまざまな思いを持って生きている。様々な思いをもとに集まり、人と人との繋がりによって地域（まち）はできている。▼地域（まち）の目的は、そこに関わる人々の持続的な幸せを実現するためにある。地域（まち）を維持するための定住人口増加は、幸せ実現の一部でしかない。▼地域（まち）を作るのは、個々の人々であり、主権者である。その主権者である人々が、個々の力によってだけで持続的な幸せを実現することが難しいとき、専門性を持ち、一定の知識等を持った存在の代理人が必要だ。それが行政であり地域企業、NPO等である。▼住民は、顧客ではなく主権者としての意義を忘れてはならない。主権者としての住民の思いが、地域（まち）をつくる。地域（まち）に真剣（マジ）になる人間を増やす事である。顧客としての考えのみの住民が増えたと、行政サービスをひたすら厚くすることが必要になる。行政の負担は増加する。次から次へサービスを高めていく中で行政は相対的に肥大化する。隣接自治体がさらにサービスを向上させれば、その上を行かなければならない。行政が税収による行政の力だけで地域（まち）を運営しようとするから、人が税収減としてのみ見ることになる。▼行政だけが地域（まち）の公共サービスを供給するのではない。住民が地域に積極的に関われば、住民の力で地域の課題が解決できる。住民が地域（まち）の魅力を創り出す当事者となれば、自分たちが創り上げた地域の魅力を多くの人に推奨したくなる。その推奨の力が地域内外の人々を動かすこともあり得る。▼こうして、さまざまな人々が地域（まち）の公共サービスを提供し、行政の仕事を減らし、むしろ、よりの確なサービスをつくりだしていく。と言うものであった。考えさせられる一面があった。【添田町のまちづくり三つの基本的考え】①10年後20年後の人口減を直視し、真に必要な人材を確保・育成し、縮小の中にも価値を創造していく。②つながりを意識し、出身者やゆかりの人、観光客等のふるさと人口・交流人口を増やす。③住民ひとり一人の才能・能力を再発見し、生きがい、やりがいを増やし、住民の基礎数を元気・活力の倍率で大きくする。